



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2021
11.30
No.89

CONTENTS

特集

「介護福祉経営士 全国会議2021」
開催

介護経営の実践者達から
経営的思考のカギを学ぶ

2

●合格者の声

5

●第6回「介護福祉のみらい」
作文コンクール 入選発表

6

●今月の「介護ビジョン」

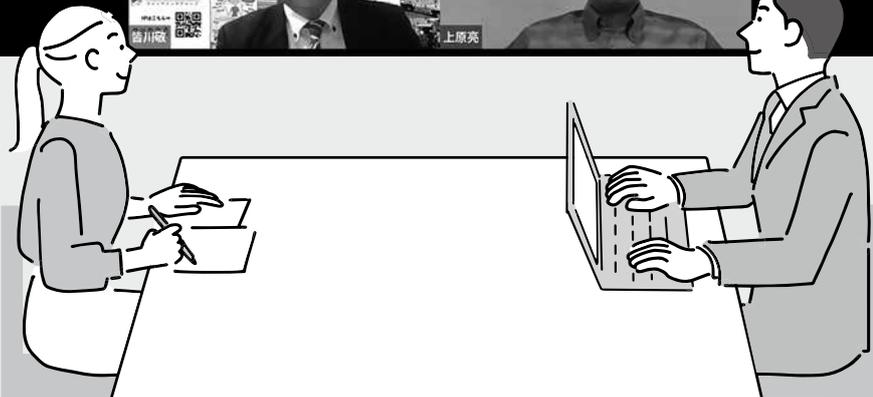
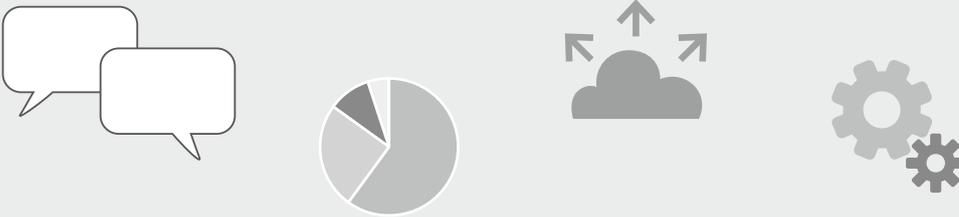
●協会推薦図書のご案内
『介護経営白書2021年度版』

7

●イベント紹介

●WEB説明会のご案内

8



特集

「介護福祉経営士 全国会議2021」開催

介護経営の実践者達から 経営的思考のカギを学ぶ



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>

制作:株式会社日本医療企画

編集・発行人:林 諄

〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階

介護経営の実践者達から 経営的思考のカギを学ぶ

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、11月16日「介護福祉経営士 全国会議2021—ポストコロナ時代の高齢者ケアと介護福祉経営」を開催した。本特集では会議の内容についてレポートする。

介護業界の最前線で活躍する 経営者に聞く介護の今

「介護福祉経営士 全国会議2021」は、ウイズ・コロナ、ポスト・コロナにおける高齢者ケアと介護福祉経営のあり方をさまざまな視点から検討する場として企画された。

ファシリテーターとして神内 秀之介氏(ふくしのよろずや 神内商店合同会社 代表/介護福祉経営士1級)を迎え、パネリストとして皆川 敬氏(サニーウインググループ 代表/介護福祉経営士1級)、井口 健一郎氏(社会福祉法人小田原福祉会 理事/介護福祉経営士2級)、溝口 寛之氏(Plus Fukushi株式会社 代表取締役社長/株式会社ひまわりウェルフェアHD 代表取締役社長/介護福祉経営士2級)、上原 亮氏(株式会社いちまん会 代表取締役/介護福祉経営士1級)を招いてディスカッションが行われた。

コロナ禍において経営者たちは 何を考え、何を準備してきたのか

会議ではまず、コロナ禍の影響により事業環境にどのような影響があり、どのような対応をしてきたかという点から議論が開始された。パネリストからは「未知のウイルスということで初動の対応が非常に難しかった。特に一番大きかったのは、面会がずっとできていないという状況。こうした状況に対応するためにZoom面会や職員同士がLINEで連絡が取り合えるようなDX(Digital transformation)を意識した環境整備をおこなった(井口)」、「デイサービスなどに行く機会が制限される中、AI搭載型の歩行リハビリロボットを導入することで、より一人ひとりの特性に合った機能訓練が行えるようにした。また蓄積されたデータを活用することで、オンライン上であっても利用者の状況が見える化でき

るようになった(溝口)」、「外出が減ることによるストレスや認知機能低下への対策として移動販売や配食サービス、買い物代行などを導入し、新しい形での地域交流や利用者サービスの形が生まれた(上原)」、「職員に感染者が出たことによって、経営者としてどのような覚悟をもって対応するのか、どうすればピンチになったときに職員と一緒に成長していけるのかを意識することがとても大事だと感じた。経営者と職員が一体となり、統一的な対応ができるようにこころがけていた(皆川)」といった内容が語られた。視聴者からの皆川氏への「感染者の発生によって職員に動揺はあったか?」との質問に対して、「普段は冷静な年配の職員が急に動揺し、現場を混乱させるような場面もあった。そこは自分自身が直接話をする事で状況を落ち着かせることができた。そういった部分を押さえていくことが大事(皆川)」といったやり取りも行われた。経営を背負う立場ならではの視点から、コロナ禍への対応の難しさについての生のエピソードが語られただけでなく、ピンチを新たな事業戦略に結び付ける手法についても語られる場となった。

ウイズ・コロナで求められたDXへの対応

コロナ禍によって非接触、ソーシャルディスタンスへの対応が求められたが故にDXに取り組まざるを得なくなった現状において、どのような取り組みをしているかについても議論が展開された。

パネリストからは「外部と提携し、独自のデータ共有システムを整備した。社内と社外をつなぐオンラインシステムを使うことによって、文章や会話だけでなく動画での教育という部分もフォローできるようになった。特に教育面では今まで夜勤スタッフなどがシフトの状況によって参加できなかったのに対し、全員が動画を視聴し、確認テストなどを

行えるようになった。これにより教育の標準化と平準化が実現できたことでサービスの質の向上につながった(溝口)、「DXを進める中で、大事なものは職員に選んでもらえることとコストを意識すること。例えば研修動画はYouTubeを利用し、研修の受講の確認はグーグルフォームを利用するといった形で、コストがかからず使いやすいツールを選ぶようにしている。また、利用者からのアンケートについてもグーグルフォームを利用することで分析時の負担を軽減できるようにしている。ICTを使うことによって楽になること、理解しやすくなることが重要であり、職員の負担になってしまっては元も子もない(井口)」、「タブレット端末を使った情報の共有、LINEを使った職員同士のコミュニケーション環境づくりは始めているが、活用状況については課題が残る(上原)」、「ビジネスチャットなどの職員同士のコミュニケーションツールの導入は進んでいる。その一方でコロナ禍によりリアルな人と人とのつながりの重要性も再認識している。一部の施設に対話推進委員を設け、例えば部署の違うベテランと新人同士が自然に意見交換ができるような環境づくりをしている。実験的な試みだが、効果も見えてきており、デジタルもリアルもどちらも大事だということを実感している(皆川)」といった内容が語られた。DXについて登壇者それぞれの取り組み内容が語られたが、共通していたのはいずれも独自のポリシーをもって取り組んでいる点だ。ディスカッションの中でも「トップが取り組んでいる姿を見せることが重要(井口)」といった言葉が出てきたように、トップである経営者がDXについて自ら考え、取り組む姿勢を見せていくことで現場にも浸透しやすくなるという点は重要なポイントであろう。

ウィズ・コロナ、ポスト・コロナでの 介護福祉経営士の役割とは

さらに会議では、今後の介護福祉経営士に求められる役割についても言及された。「自分が経営者の立場に立つことになった際、経営に関する専門知識を把握することが難しかった経験がある。これから介護福祉経営に携わる方に対して、少しでも自分が苦勞したこと良かったことを伝えていきたい。介護福祉経営士は現在幅広い分野で活躍しているため、経営士同士で専門知識を交換し合える場

ができればいいなと思っている(上原)」、「これからの介護経営は、世界基準を意識して経営していく必要があると考えている。そして、より上の宇宙基準に切り替えなければいけないと思っている。介護福祉経営士も環境問題などを考えていく必要がある時期にきているのではないか。これから先、そうした取り組みをするためには様々な人脈や情報が必要になる。そのためにも介護福祉経営士の皆さんと共に介護福祉におけるプラットフォームを作り、様々な課題解決の場としていければいいと思っている(溝口)」、「介護福祉経営士という名称の中に「経営」が入っているということが大事であると思っている。これまでは3年ごとの改定に合わせてそのトレンドについていく、いわば大手の真似をするフォロワーであればよい時代であった。しかし、これからの経営では、模倣困難性が高い新しいものを作り出していくという視点が大事なのではないかと思う。皆同じものを追い求めてしまうという同質化の誘惑が介護業界にはあり、そこから介護福祉経営士としていかに脱却していくのが重要だと思っている(皆川)」、「現場の職員から、キャリアアップするにしたがって現場職員時代には見えなかったことがあったと気づいた。日本人には水準をつくる傾向があるが、経営者に求められるのは水準ではなく、抜きんでるところやアイデアなど、ほかの人とは違うものを作っていくこと。そうした部分を議論し、実践事例を介護福祉経営士同士で積み重ねていければ良いと考えている(井口)」、「制度改正などにもなるルールの変化によって環境が変わったとしても必要なことは守っていく一方で、変化しなければいけない部分は変えていくというイノベーションを自らおこしていくというのが介護福祉経営士には必要であると思う(神内)」といった意見が述べられた。登壇者に共通しているのは、介護福祉経営士にイノベーターとしての役割を期待している点だ。介護福祉経営士が中心となり、介護の新たな価値を創造する場を構築していくことが、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ時代の介護福祉経営士の役割となるはずだ。

その後も、時折投げかけられる参加者からの質問への回答を交えつつディスカッションが続けられ、「コロナ禍を見据えた事業計画の展望」、「アフターコロナ時代の人事戦略」、「介護・医療連携の今後」といったテーマ等が取り上げられた。

今回の会議では介護経営の手法やテクニックについて
の話題だけでなく、「何故その取り組みをしようと思ったの
か」「どんな思いをもとに介護経営に携わっているのか」と
いった部分にも話題が及んだ。介護の最前線で活躍する
経営者達がどんな思考プロセスをベースに介護経営に、向
き合っているのかを知ることのできる貴重な機会となった。

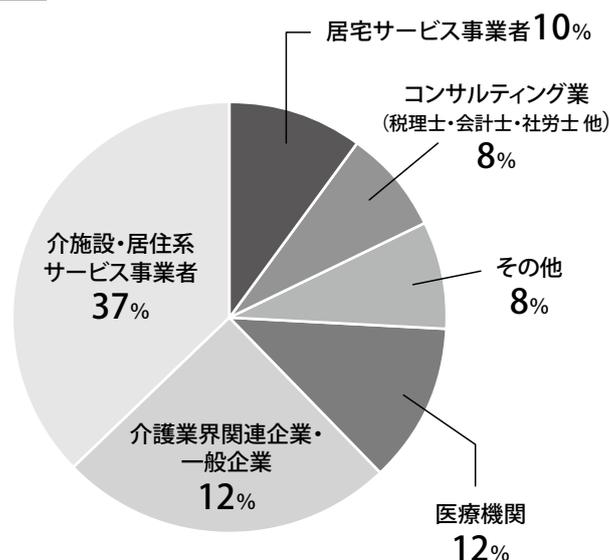
さまざまな地域・立場の参加者が 集った全国会議

「介護福祉経営士 全国会議2021」では、オンライン開催
ということもあり、参加者の所属地域も北海道から沖縄ま
で全国各地に及んだ。また、所属している団体についても介
護業界のみならず医療機関、コンサルティング業、介護ソフト
開発企業などさまざまな分野に及んでおり、ポストコロナ
時代の高齢者ケアや介護経営について他業界からも注目
度が高まっていることがうかがえる結果となった(図1)。

そうした背景もあり、会議では参加者から活発に質問が
寄せられ、リアルタイムで登壇者から回答が行われること
で、一体感のあるイベントとなった。

参加者の皆様には、今回の全国会議の内容を所属の地
域・団体に持ち帰っていただき、ウィズ・コロナ、ポスト・コ
ロナ時代の介護業界を守り、盛り上げるための一助としてい
ただきたい。

図1 参加者の所属の内訳



参加者の声 (参加者アンケートより)

最先端の経営者の方々の生のご意見を
聴く機会が得られ、よかった。

▲ 施設・居宅系サービス事業者

それぞれ分かりやすく、重要な内容で、よかった。自分の経営知識
の未熟さから、雲の上の話のように思える部分があったが、一つひ
とつ、勉強と実践だなと思えた。

▲ 居宅サービス事業者

前半のコロナ対応の話題は身近でもあるような
いわゆる平凡なやりとりであった。最終版の皆川
さんや井口さんの「経営とは」の語りは、芯があっ
たように見え、そこは刺激がありました。

▲ コンサルティング業(税理士・会計士・経営士他)

質問への対応の早さが良い。

▲ 介護業界関連企業・一般企業

事業のブランディング戦略につ
いてもっと詳しく聞きたい。

▲ 施設・居宅系サービス事業者

有難うございました。とても参考になりました。今後独立を考えてい
るのでとても有意義な時間でした。

▲ 施設・居宅系サービス事業者

介護業界の事業展開について理解できた。

▲ 介護業界関連企業・一般企業

Zoomでの全体会議も効率的・合理的で良いです。

▲ 施設・居宅系サービス事業者

情報収集のアンテナとして資格を活かしたい

多田野 良太 ●ただの・りょうた

NDソフトウェア株式会社
介護福祉経営士2級/介護事務管理士



NDソフトウェア株式会社の中部営業所に所属して、介護業務支援ソフト「ほのぼのシリーズ」の開発・販売に携わっています。業務内容は福祉事業所様向けに介護ソフトを活用した運用のご支援・販売を行っています。

今年度は介護保険制度の改定で「LIFE(科学的介護情報システム)」が始まりましたが、ご相談を受ける機会も多く、5月時点でほのぼのからLIFEへデータ提出ができたため、「スムーズに対応ができた」といったご評価も頂戴しています。

「ほのぼのシリーズ」は現在、全国で約6万7,800事業所の利用実績があります。

多くの事業所に選んでいただいているが故に、日々学び続ける必要性を感じます。

介護福祉経営士の学習は、普段自身が求めていた知識の取得をするために非常に興味のある内容でした。資格取得の動機について、自分のキャリアアップの目的もありますが、自身の仕事そのもののクオリティを上げたい、できるだけ正しい判断(提案)をして、関わる介護法人になにかGIVEできることがないか模索したい、といった思いを強くもっていました。

私が現在関わっている介護ソフト業界は100社近く参入されており、どのメーカーもある程度の水準をクリアしています。

その中から選ばれるためには、ソフトの品質以外の部分でも、付加価値を生み出していく必要があります。経営

者層の方々とできるだけ同じ目線で思考できることもその一つだと思います。そういった意味でも学びは大切です。

今回、実際に学習を進めてみると、初めて知る内容の多さに驚きました。知識を持っていたつもりでの介護報酬部分についても、通常はソフト内ですぐ調べることができる為、いざ問題として出題されると回答の選択に迷うこともありましたが、その一方で自社製品の優位性も再確認できました。

また、介護制度の歴史や時代の変遷を学ぶことで、措置の時代から福祉を支えている方々への畏敬の念が強まりました。「この方々の役に立ちたい」という気持ちを原点として関わりを持てるようになったことは、学習に取り組んだメリットと感じています。

介護福祉経営士の資格を取得してから、これまで入ってこなかった情報に触れる機会も多くなりました。テキストで得た情報もそうですが、日本から世界へ視野を広げられる「グローバル福祉コーディネーター張さんと巡るアジア福祉紀行^{*}」のような興味深い企画の存在を知ったことは大きな収穫だと思います。日本の介護だけではなく、世界の介護を知る、これだけでわくわくします。資格に関わりをもったことで得た情報をきっかけに、さらに新たな情報を得ていく——そのように自分の情報収集のアンテナを高くするとさらに仕事が楽しくなります。このような良い循環で、今後も資格を活かしていきたいと思います。

^{*}「グローバル福祉コーディネーター張さんと巡るアジア福祉紀行」…

コーディネーターとして張悦氏(株式会社張福祉コンサルティング 代表取締役)を迎え、アジア各地の福祉の現状をオンラインツアー形式で紹介するセミナー(当協会東海支部協賛)。

介護福祉経営士テキストのご案内

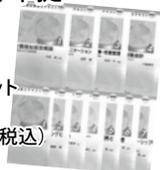
介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

「いまなら」**「介護福祉経営士2級資格認定試験対策 — 合格サポートブック —」がもらえる!!**

介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編
全11巻セット
特別価格:
26,190円(税込)



介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編
全10巻セット
特別価格:
24,100円(税込)



「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
 - 予想問題を掲載
 - 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。
- ※解説は(株)日本医療企画によるものです。

※株式会社日本医療企画へ直接お申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ
▶<http://www.jmp.co.jp/>

「介護福祉のみらい」 作文コンクール 入選発表

私たちがだから
伝えられることがある



一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会(代表理事=多田 宏)は、このほど、第6回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施いたしました。将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会をもってもらうことを目的に、令和3年6月1日から9月6日にかけて作品を募集しました。

全国より応募総数621編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長(日本生活支援学会会長/浦和大学名誉教授)のもと、厳正な審査を行った結果、次のとおり入選作品が選出されましたので発表いたします。

受賞者には本会より賞状を贈呈いたします。

最優秀賞
作品

介護や福祉に関する実体験を通して感じたこと

たかしま あきら
高嶋 晶さん

学校法人福井精華学園 啓新高等学校 1年

優秀賞
作品

これからの介護や福祉に関する私の意見

おがさわら ゆあ
小笠原 遥逢さん
栃木県立真岡北陵高等学校 2年

実習で学んだこと

まつもと かなた
松本 蒼空さん
学校法人平松学園 大分東明高等学校 1年

佳作作品

これからの介護や福祉に関する私の意見

こたけ きり
小竹 希璃さん
浜松修学舎高等学校 1年

福祉に対する思い

はせがわ まな
長谷川 愛奈さん
浜松修学舎高等学校 2年

曾祖父との思い出

もりおか りあ
盛岡 莉朱さん
兵庫県立日高高等学校 3年

実習生だったから

もり いちか
森 一佳さん
学校法人平松学園 大分東明高等学校 2年

認知症ときっかけ

いまたに みずき
今谷 瑞希さん
学校法人平松学園 大分東明高等学校 3年

介護や福祉に関する実体験を通して感じたこと、考えたこと

おおし ゆうき
大司 悠貴さん
大分県立佐伯豊南高等学校 2年



黒澤貞夫審査委員長のことば

全国の中・高校生の皆さん、この度は作文をお寄せいただき誠にありがとうございました。

講評として、特に良かった点を三つ挙げたいと思います。

一つ目は、家族との思い出から介護福祉に関わるようになったことをまとめている点です。曾祖父、曾祖母、祖父、祖母の介護を通してさまざまな経験をベースにして、いま学んでいる介護福祉と結び付けて、とてもよい文章を書いていました。

二つ目は、実習についての経験をまとめている点です。実習というのは、初めての实習でも数回重ねての実習でもとても大変なものです。まったく知らない世界に、経験のない皆さんが飛び込むわけですから、ストレスやさまざまな印象を持つことはよくわかります。しかし、そのストレスや印象、経験を皆さんはとても上手に作文に活かしていました。

三つ目は、学校生活や社会生活のなかで感じたこと、考えたことをよくまとめている点です。特に学校の勉強のほかに社会問題や高齢者の介護の問題など、さまざまな問題に関心を持って表現している作文がたくさんありました。これは皆さんが広い視野で社会問題や生活の問題を見つめているということであり、そのことが皆さんにとってすばらしい財産になっていると思いました。

総じて、皆さんの文章はとてもよくまとめてあり、よく表現ができています。このことから、皆さんの将来は光り輝くものであると感じています。

最後に、今回すべての人に賞を差し上げたいところですが、いくつかの作品を選びました。しかし、くれぐれも申し上げたいことは、すべての人にエールを送りたいということです。

ぜひこれからも頑張ってくださいと思います。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局

TEL:03-3553-2896 FAX:03-3553-2897 Mail:info@nkfk.jp

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

実践者に学ぶ! 介護の価値を再構築する

介護の仕事というと、入浴・食事・排泄の三大介助をイメージするが、それだけが果たして介護の仕事だろうか? テクノロジー開発や自立支援など、目の前の業務の先にあるものを見据えた介護をやることで、たんなる流れ作業からの脱却につながるのではないかな。

いつもの介護にプラスして、新たな価値を付加している取り組みを迫る。

仕事へのモチベーションは何をすれば高められるか

事例1 自立支援

自立支援を支えるのが介護そこに介護の魅力ややりがいがある株式会社おおいけあ

事例2 テクノロジー開発

介護・医療・ヘルスケアの社会問題を解決するにはリアルなサービス+テクノロジーがどうしても必要ベストリハ株式会社

事例3 働く

人・地域とつながり“働ける”デイサービスを全国につくる100BLG株式会社

事例4 SDGs

SDGsに取り組むことは社会の潮流をつかむこと株式会社亀右衛門

提言

介護の当たり前を疑い、問い直す「介護3・0」という考え方 横木淳平氏(株式会社STAYGOLDcompany代表取締役)

企業 データの活用

データの利活用で働き方のみならず介護のあり方の変革に挑む コニカミノルタQOLソリューションズ株式会社

2021年12月号

(2021年
11月20日発売)



詳しくは [介護ビジョン](#) 検索

- 毎月20日発行
- 定価: 1,320円(税込)
- 定期購読料: 15,840円(税込)
- ※ 会員価格は12,672円(税込)

第2特集

心が動くと身体も動く“癒し”がもたらす効果とは



協会推薦図書のご案内

介護経営白書 2021年度版

ポストコロナ時代の介護再構築——今こそ問う変革期の経営戦略

2020年の「老人福祉・介護事業」倒産は118件(前年比6.3%増)で、過去最多の記録を更新しました。そのうち、新型コロナ関連倒産は7件。新型コロナ感染症の感染拡大当初は、顧客の利用控えなどから業績の悪化が危惧され、倒産件数の大幅な増大が予想されましたが、大きな影響を受けた事業者は少数であり、従来より経営基盤が脆弱な法人がコロナ禍の厳しい状況を持ちこたえることができず淘汰されたとみることもできます。

コロナ禍においても宿泊業や飲食業と異なり人流の影響を受けにくい強い業態、社会的に欠かせないインフラという見方が強まったためか異業種による新規参入や同業者による事業拡大を目的としたM&Aの件数は増加しています。身体介護や食事の介助など、リモートワークが困難な介護という業態にあってコロナ禍にかかわらず、有事の経営に備えてきた法人や変化に柔軟に対応できる組織を構築してきた法人は今なお成長を続けています。このように新型コロナはさまざまな介護の実態を浮き彫りにしていきました。

今後はワクチン接種が進み、新しい日常が常態化するなかで、介護事業はさらに変化し、進化していくと考えられます。本書では、コロナ後の世界や日本、介護の在り方、介護経営を多様な視点から概観し、今、求められている経営戦略を追究し、新時代を担う介護事業者の経営指針策定のヒントを提示していきます。

第1部 ポストコロナ時代の介護再構築——今こそ問う変革期の経営戦略

- 第1章 ポストコロナ時代の財政と社会保障
- 第2章 介護分野における政策の行方——人材確保の再構築と展望
- 第3章 介護事業者に求められる選択と集中——LIFE導入による新戦略
- 第4章 変革期における介護教育の考察
- 第5章 ポストコロナ時代のケアの在り方を問う——支援を通して見えてきたもの
- 第6章 危機の時代をリードする人材を!——lead(先導)とread(時代の流れを読む)
- 第7章 業界団体がめざすポストコロナ時代の介護

第2部 介護経営の動向と展望——

コロナを乗り越え、新たな地点をめざす

- 第1章 介護の市場価値の考察
- 第2章 人材育成の潮流と今後の動向
- 第3章 情報と技術を融合させた介護の進化を読み解く
- 第4章 次のステージへ向かう介護経営

【資料編】介護事業関連データ集

※内容は変更となる場合があります。

- 編集委員: 青木正人(株式会社ウエルビー代表取締役) / 川淵孝一(東京医科歯科大学大学院教授)
- 企画・制作: ヘルスケア総合政策研究所
- 発行: 株式会社日本医療企画

- 書籍体裁等: B5判 約180ページ
- 予価: 4,000円+税 (会員価格: 3,200円+税)



2021年
12月
発売予定!

関東支部

石井先生と語ろう♪診療報酬改定カフェ —2022年度改定のポイント

2022年度診療報酬改定は新興感染症への対応を含めた感染症対策をはじめ、働き方改革、入院や外来の再編、在宅医療の強化など、テーマが多岐にわたっている。診療報酬改定カフェでは、中医協等の議論を踏まえながら改定のポイントについて話していく。

- 日時：2021年12月16日、2022年1月20日、2月17日、3月17日
第3木曜日 17:30～18:30
- 講師：石井富美氏（多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長）
- 開催方法：オンライン（Zoom）によるライブ配信
- 参加費：会員：各回1,000円
一般：各回2,000円 ※税込

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 日本医療経営実践協会 関東支部 事務局
TEL:03-3553-2885

株式会社日本医療企画

“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾

- 【第1回】2021年10月16日（土）※アーカイブ受講可
病院経営を取り巻く環境を学ぶ
- 【第2回】2021年11月20日（土）※アーカイブ受講可
病院の外部環境分析を学ぶ
- 【第3回】2021年12月18日（土）
病院の内部環境分析を学ぶ
- 【第4回】2022年1月15日（土）
病院経営戦略の策定と実行を学ぶ
- 【第5回】2022年2月19日（土）
病院経営の改善手法を学ぶ

14:00～16:00
講義90分＋
ディスカッション

- 日時：古株靖久氏（生命科学修士、経営学修士、医療経営士2級、
介護福祉経営士2級）
- 開催方法：オンライン
- 受講料：各回2,000円 ※税込

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL:06-7660-1761

株式会社高齢者住宅新聞社

介護DXサミット 介護センサー導入の肝

科学的介護の実践が本格的に始まった。請求システム、記録システムをはじめ、ICT、IoT、センサーなど最新のシステムを連動させることで、現場業務の効率化、利用者に資するサービス向上が可能となった。

「介護DXサミット」では、センサー系を中心に様々なシステムを比較・検討できるように、複数の機器を紹介。自社に合ったシステム構築を支援し、「導入のキモは何か」を探る。

- 第1部 先進的介護「北九州モデル」の紹介（予定）
樽本洋平氏（麻生教育サービス株式会社 北九州支店
介護ロボット導入支援センター センター長）

- 第2部 最先端のセンサーシステム紹介

- 第3部 ディスカッション「自社に合った最適なシステム構築」
コメンテーター：三重野真氏（日本ホスピスホールディングス取締役）
コーディネーター：大塚商会・高齢者住宅新聞社

- 日時：2021年12月16日（木）13:00～16:45
- 開催方法：オンライン
- 参加費：無料

▼お申し込みはこちら



※本セミナーは官公庁・地方自治体、医療法人、社会福祉法人、建設会社・不動産会社、地主、金融機関、税理士事務所様対象です。
個人での参加は受け付けておりませんのでご了承ください。

お問い合わせ 高齢者住宅新聞社 セミナー事務局
Mail: info@koureisha-jutaku.com

介護事業経営研究会

介護事業の業務継続計画（BCP）作成攻略セミナー

令和3年度介護報酬改定で3年間の経過措置を持って義務化された業務継続計画BCP。令和3年度介護報酬改定は過去最大規模の大改定となった。新たに義務化された業務継続計画（BCP）は、一般の中小企業庁主導のものとは異なり、厚生労働省様式で、自然災害BCPとコロナ対策（感染症対策）BCPからなる。厚生労働省様式での作成のポイントと重要なキーワードであるストレスケア。介護事業の経営者、管理者、職員必聴の講座。

- 日時：2022年1月12日（水）13:30～16:30
- 講師：小濱道博氏（小濱介護経営事務所代表）
小林香織氏（一般社団法人コグニティブ・サポート代表理事、
コグニティブ・サポート・グループ代表）
- 開催方法：オンライン（Zoom）
- 受講料：一般 3,000円、C-MAS会員 2,000円 ※税込

▼お申し込みはこちら



お問い合わせ 介護事業経営研究会
三重北中部支部事務局 堤会計事務所 内
TEL:0594-25-0371

介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、「介護福祉経営士」資格や認定試験に関するWEB上での説明会を行っています。

これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法などさまざまな情報を距離・場所の制約なく入手していただける機会となりますので、ぜひご利用ください。

お申し込みは当協会ホームページ (<http://www.nkfk.jp/demae.html>) より承っております。

